

■ あなたの運転をチェック — あなたはいくつ当てはまりますか？ —

- ☐ 近所だからと、運転が少し雑になる
- ☐ いつもの道では、周囲をあまり意識しない
- ☐ 一時停止は「止まったつもり」になっている
- ☐ 前の車との車間距離が近い
- ☐ 黄色信号を見ると「行ける」と思ってしまう
- ☐ 右左折のとき、歩行者や自転車の確認が十分ではない
- ☐ 「この車は止まってくれるだろう」と思うことがある
- ☐ 急いでいると、速度が上がってしまう
- ☐ 携帯・スマートフォンの着信が気になる
- ☐ 夕方や夜は、歩行者が見えにくいと感じる
- ☐ 疲れていても「これくらいなら」と運転する
- ☐ 最近、「ヒヤッ」とすることが増えた

0～2個

まずまず、
でも油断は禁物

これからも気を抜かず、
安全運転を。

3～5個

少し注意。運転を
見直してみましょう

思い込みに気づくことが、
未然に事故を防ぎます。

6個以上

要注意。
今日から運転を
変えてみませんか？

一度、自分の運転を
しっかり見直しましょう。

■ 危険性を生む3つの「〇〇」

① 慣れ

「いつもの道だから大丈夫」

通り慣れた道ほど、
注意が散漫に
なりがちです。



② 焦り

「急いでいるから、少しくらい」

時間に追われると
速度が上がり、
確認が難しくなりがちです。



③ 思い込み

「相手が止まってくれるだろう」

相手の行動を
自分の都合で
決めつけないこと。



< 9月1日から > 生活道路の法定速度が 30 km/h になりました

中央線や車両通行帯などが設けられていない一般道では、
自動車の法定速度が 60km/h から 30km/h に引き下げら
れました。

※ 中央線や車両通行帯が設けられている道路などでは、引き続き 60km/h が
法定速度です。また、道路標識などで最高速度が指定されている場合は、そ
の指定速度が優先されます



「30km/h まで出してよい」ではありません。

30km/h は “最高速度” です。道路の状況や天候、視界など
に応じて、速度を落とすことが大切です。



【特集】安全運転を、今一度考える

その運転、 大丈夫ですか？

— 「慣れ」「思い込み」が事故を招く —

交通事故は、特別な人が起こすものではありません。

「いつも通る道だから」「これくらいなら大丈夫」

「相手が気づいてくれるだろう——」

そんな小さな思い込みが、事故につながる可能性があります。

こんな場面、ありませんか？

CASE 1



いつもの住宅街

「飛び出してこないだろう」

▼ ではなく

「飛び出してくるかもしれない」

速度を落として、すぐ止まれる準備を。

Point

子どもや高齢者
は、予想外の動
きをすることが
あります。



CASE 2



信号のない横断歩道

「まだ渡らないだろう」

▼ ではなく

「渡るかもしれない」

横断歩道では、歩行者を優先する。

Point

横断しよう
とする人が
いたら、必
ず止まる。



CASE 3



夕暮れ時

「まだ明るいから大丈夫」

▼ ではなく

「見えにくくなっている」

早めのライト点灯で、自分も相手も守る。

Point



10月 は日没が早く
なり、夜間の事故が
増える時期です。

CASE 4



急いでいるとき

「遅れそう…急ごう！」

速度が
上がる

確認が
雑になる

判断が
遅れる

5分早く出る。それも交通安全です。

Point



時間に余裕を持つこ
とが、事故を防ぎま
す。